

令和4年度町村長会議 意見交換の概要

1 日時 令和4年5月23日（月）15時45分～17時00分

2 場所 神奈川県自治会館3階会議室

3 出席者

葉山町長	山梨 崇仁	知事	黒岩 祐治
寒川町長	木村 俊雄	副知事	小板橋 聡士
大磯町長	中崎 久雄	副知事	首藤 健治
二宮町長	村田 邦子	教育長	花田 忠雄
中井町長	杉山 祐一	警察本部長	林 学
大井町長	小田 眞一	理事（いのち・未来戦略担当）	脇 雅昭
松田町長	本山 博幸	政策局長	平田 良徳
山北町長	湯川 裕司	総務局長	筒浦 浩久
開成町長	府川 裕一	くらし安全防災局長	佐川 範久
箱根町長	勝俣 浩行	国際文化観光局長	香川 智佳子
真鶴町長	松本 一彦	スポーツ局長	三枝 茂樹
湯河原町長	富田 幸宏	環境農政局長	鈴木 真由美
愛川町長	小野澤 豊	福祉子どもみらい局長	橋本 和也
清川村長	岩澤 吉美	健康医療局長	山田 健司
神奈川県町村会事務局長	太田 良勝	産業労働局長	河鍋 章
		県土整備局長	大島 伸生
		教育局長	田代 文彦
		横須賀三浦地域県政総合センター所長	井上 和子
		県央地域県政総合センター所長	池田 雅男
		湘南地域県政総合センター所長	竹村 洋治郎
		県西地域県政総合センター所長	荒井 範郎

4 議題

- ・ 新型コロナウイルス感染症について
- ・ ウクライナ避難民の受入れについて
- ・ 脱炭素社会の実現に向けた取組について
- ・ コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」について（地方創生臨時交付金）

警察本部からの情報提供

意見交換

令和4年度町村長会議（5月23日）意見交換の概要

令和4年5月23日

15時45分～17時00分

神奈川自治会館3階会議室

【清川村長】

清川村の岩澤です。新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、清川村の12歳以上が先週で85%を超える接種率になっています。これも黒岩知事を始め健康医療局長、皆さんの御支援をいただきながらワクチン接種が順調に進んでいる結果だと思っております。本当に私自身も心強く思っており、感謝申し上げます。

今、6月末の4回目の接種に向けて医師会と日程調整をしているところでありますけれども、先ほど山田健康医療局長さんが説明された、3回目より4回目の方が死亡率が低いというお話をいただきまして、私も村民に向けて一生懸命PRしていこうと思っております。

ワクチンも種類によって受けたくないというのが実情ではありますが、やはり命、健康、暮らしを守るために接種は進めていきたいと思っております。特に医療機関の脆弱な清川村にとりましては、県立煤ヶ谷診療所、これが本当に村民の命、健康を守る大切な機関でありまして、継続していただけるということから感謝申し上げますし、4回目接種につきましても、是非、御支援と御協力をいただきたいと思いますのでこの場でお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

【黒岩知事】

ありがとうございました。健康医療局長、何かありますか。

【健康医療局長】

ありがとうございます。町村の皆様方には接種を進めていただきまして、今、村長さんからも85%と非常に高い数値をいただいております。こちらの方からも感謝申し上げます。

4回目の接種について、先ほど資料でお示したように、やはり死亡率が格段に下がるということですので、私どもとしてもPRに力を入れていきたいと思っております。できればマスのボリュームが一番の7月に接種対象になる方が非常に多いので、県のたよりの7月号くらいで4回目接種の必要性についてPRしたいと思っております。

村長さんからも種類によって受けたくないという声をいただきました。もともとファイザーとモデルナでどちらかというとなモデルナが不人気だということもありますが、もともと中に入っている m-RNA という成分が、ファイザーが 30 μg に対してモデルナが 100 μg ということでは実は 3 倍以上中身が濃いです。その部分があまりクローズアップされずに、副反応が強いというところだけが非常にクローズアップされてしまっているというのが問題だと思います。モデルナは 3 回目以降半分に減らすということになりましたけれど、それでも 50 μg ということですので、ファイザーより強いというか効きがいいです。あまり比較するのはよくないかもしれませんが、そういった点も PR しながらワクチン接種に取り組みたいと思っています。

それから煤ヶ谷診療所に感謝いただき、ありがとうございます。全力で力を尽くして御協力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【黒岩知事】

では中井町さんお願いします。

【中井町長】

中井町でございます。やはり 4 回目のワクチン接種の件ですけれども、まずは知事に 3 回目の集団接種というか大規模接種の会場を県西地区から始めていただきましたこと、本当にありがとうございます。満杯にはならなかったかもしれませんがいろいろ助かりましたのでありがとうございます。

この件につきまして、4 回目についてもまたやれるのかどうか、その辺のこともお聞きしたいのと、本町でもやはり 1 回目、2 回目を打ったときに副反応があって、3 回目を遠慮している方がいます。そういった方はやはり 4 回目も遠慮してしまうのではないかという、要するに 3 回目を接種していないから 4 回目の接種をしないという形だと思っておりますが、その辺のいいアナウンスがありましたら教えていただきたいと思っています。以上です。

【黒岩知事】

健康医療局長お願いします。

【健康医療局長】

4 回目につきましては、会場を県を中心の海老名市に移させていただいたということもありまして、先ほど申し上げた 6 月 3 日からレンブラントホテル海老名でやるというのをまずは進めていきたいと思っております。中心部という

ことで何とかいらっしやっただけの方も多いいなと思っております。

それから副反応についてもお話をいただきました。非常に難しい問題だと思います。1、2回目で副反応が出た方は、確かに3回目を忌避される方もいらっしやるかと思えますし、特にオミクロンは重症化しにくいという報道もあることもあいまって、1、2回目を打っているから3回目は打たなくていいのではないかということも出てくると思います。県でも3回目接種の促進に向けて、軽症といっても結構ひどい咳がでるなど大変なんですよといったようなことをPRしていきながら、是非とも3回目も受けていただきたいという動画も作らせていただきましたし、4回目はご高齢の方が中心となりますので、ご高齢の方はもともと副反応が出にくいということもありますから、そういった点もきちんとお伝えしながら広報に努めてまいりたいと思います。以上です。

【黒岩知事】

湯河原町さんお願いします。

【湯河原町長】

ワクチンのことで少し。まだ予断を許さない状況ではありますが、知事を始めオール神奈川でコントロールしていただいて、今の状況があると思っております。これは愚問だとわかりながらあえてお尋ねするのですが、4回目の接種ということで、印象としてやや連続性でこれまではワクチンによる感染予防と受け止めているのですが、この連続性というのはまだこれからも続くのか、それとも4回目が一つの区切りになるのか、集団接種会場を確保してきたこの2年間の中で、連続性がまだあるのかというのは非常に気になるところでありまして、この辺は国や専門的な立場で、差しさわりのない程度で少し説明をいただくと有り難いと思います。いかがでしょうか。

【黒岩知事】

はい、健康医療局長お願いします。

【健康医療局長】

ありがとうございます。確かにずっと接種、接種ということで、いつになったら終わるのかというような感覚もおありかと思えます。やはりこういったワクチンの接種の回数というか、いつまで続くのかというのは、専門的な知見に基づいてエビデンスベースで判断されるということで、1回目、2回目が終わった後に3回目をやりますということは、発症予防効果それから重症化予防効果、こういうものをみていくのが専門家として否定できない。そして、4回目の必要性に

については、発症予防効果の方は数週間しか続きません。だから重症化をしないというオミクロン系統の株に対しては、そんなに発症予防効果を重視してやる必要はありません。反対に重症化予防効果、こちらはやはり高齢者に対してはあるということが先行国の事例で判明したので、60歳以上の高齢者の方、そこにエビデンスがありましたから、国で60歳以上については重症化予防効果継続のためには4回、それから基礎疾患のある方という形で判断をされたということでございます。ですから、これ以降5回目がどうなるかということについては、多分5回目を打たなくても4回目の効果で重症化予防効果は高齢者についても十分ですよという知見が得られれば、もしかすると5回目はないかもしれないですし、やはり高齢者の方については効果の切れ目が早い2回目のファイザーは3か月くらいで効果が切れまですし、モデルナは6か月ずっと持続しましたが、そのような諸外国の先行事例を見ながら、国で5回目について重症化予防効果が果たしてどのくらい続くのか、それをやったときに果たして有効なのか、これを見て判断をされると思いますので、現時点で続きます、続きませんというのは断言できませんけれども、外国の例をみているとだいたい予想はついてくると思います。以上でございます。

【黒岩知事】

ほかにいかがでしょうか。松田町さんお願いします。

【松田町長】

本日はどうもありがとうございます。私からは大きく2つです。

1つは先ほど平田政策局長から臨時交付金についてお話がありました。県にも臨時交付金があって、そのうちのお金の使い方として、今後我々自治体にも、こういうものがあつたらどうですかという意見を聞いていただけるのかどうか、もしあればですが、例えば前回どこかの機会で県の水道料金を少し割引されていた気がしますが、県水にかかわりのない場所について、例えば同じような格好で料金の補助をいただけるとか、あと今ようやく小学校や中学校、高校も一緒だと思いますが修学旅行に行けるようになってきて、やはりコロナ対策をするに当たって、親の負担金が増えています。一部では出さなくてはいけないと思っはいますけれども、もしかしたらそういったところに目を向けていただくことも可能かどうかなど、意見を聞いていただけるのかどうかということが1点です。

もう1つは、スポーツ局の方々には大変お世話になっていることですが、昨年から、県西地域において、「未病の戦略的エリア」ということで、食と運動と社会参加のうちの運動というものをキーワードというか、スポーツとい

うものにターゲットを絞ってスポーツ団体の方々にこの県西地域に来ていただきたいということ、そのためにも各施設が、各町いろいろなものを豊富にたくさんお持ちなので、そこをワンストップで情報共有をして、ユーザーの方に提供するような、スポーツコミッションの立ち上げについて、国に補助金の申請をしたところ、一応内諾をいただきました。これから今年一年かけてやりながら、松田町だけでなく、広く言えば県西地域をひとつとして団体、企業とかNPOでもいいですけど、当然そこにはベルマーレなんていう名前もあったりしますけれども法人が参画するようなことをこれから少しずつ煮詰めていきたいと考えております。

この間、スポーツ局の課長さんも来ていただきましたけれども、今後、スポーツで県西地域の経済のエンジンを回していきたいと考えていますので、是非とも、引き続き御協力をいただければというお願いをさせていただき発言を終わりにします。

【黒岩知事】

それでは、臨時交付金について政策局長お願いします。

【政策局長】

臨時交付金につきましては、町長のおっしゃられるとおり、県に200億円くらい、県内市町村にも200億円くらいということで、それぞれ国からお金がきております。それぞれの使い道がダブってしまっているものもあるだろうし、横出しや上乘せなどそれぞれの自治体の御判断もあるかと思っておりますけれども、やはりできるだけ効果的に県民の皆様にお届けするにはどういう形がいいかということで、私どもも今まさに庁内でいろいろ情報を国にも話を聞きながら、国との事業のダブリなどもいろいろ出てくるところもありますので、そこを確認しながら、できるだけ早く県としてこういうふうを考えている、こういうところに交付金を出そうと考えているということを皆様にお示しして、その中で情報共有を図っていきたいと思っております。以上です。

【黒岩知事】

それではスポーツ局長お願いします。

【スポーツ局長】

ありがとうございます。私ども神奈川県も、今まではスポーツをいろいろ盛り上げようという取組を一生懸命させていただきましたけれども、これからは、スポーツで何ができるのか、スポーツで県民の皆様をどのように豊かにしていく

かということも、非常に大切な視点だと思っております。

今年から、スポーツツーリズムについて、いよいよ神奈川県も取組を始めさせていただきます。先ほど町長さんからもお話があったとおり、スポーツツーリズムという観点では、松田町さんが先輩でございますので、スポーツ課長を始めとして、いろいろ勉強させていただいております。

是非、今後とも連携をして町村の皆様と一緒にスポーツツーリズム、神奈川のスポーツツーリズムというものを作り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【黒岩知事】

ほかにはいかがでしょうか。では、大磯町さんお願いします。

【大磯町長】

資料の脱炭素社会のパワーポイントの3と4であります。特に4の方で、脱炭素社会の実現に向けた施策の情報共有と書いてありますが、脱炭素は、すでに県でもいろいろなことをおやりになっていると思います。

しかし、私たち市町村は脱炭素社会の実現に向けてどういう課題があり、どういうふうに県に支援をお願いしていいかわからないので、現在の実態というものを明確に示していただきたい。

大磯町といたしましても、脱炭素社会の実現に向けた動きを受けて、現在、計画などを作るタイミングになっております。また県から専門の交流職員も働いております。

こうしたタイミングの中で、県が実際に行われた戦略の中間のとりまとめ等で、実現に向けた動きとの差異を把握しているかと思えます。こういうものを明らかにしていただくことで、各地域からの意見や提言をしていきやすいと思っております。以上です。

【黒岩知事】

環境農政局長お願いします。

【環境農政局長】

御意見ありがとうございます。今お話がありましたように、中間とりまとめにつきましては、コンサルに今委託をしまして、それで県内のポテンシャル等含めて、コンサルといろいろ議論をしながら、県としてどういうことをやっているかというのを取りまとめていこうというものでございます。その過程の中で、各地域で当然私どもが認知していないような各地域によるいろいろな課題

ですとかポテンシャル等もあると思いますので、そういったものもお聞かせいただきながら、そういうものも含めて取りまとめていきますので、まとめていく過程においても、各町村さんとも意見交換をしながら、今後どのようにしていくかという戦略としてまとめていこうと思っています。タイミング的なものがあるかと思いますが、相互に意見ですとか状況などを共有しながらその辺りも含めてと思っています。以上です。

【黒岩知事】

ほかにかかでしょうか。葉山町長お願いします。

【葉山町長】

葉山町の山梨です。よろしくお願いします。首藤副知事に伺いたいのですが、町村会の会議で先ほど議論が出まして、殿町に町村会として視察に行く方向で議論を進めております。未病に絡めて大変重要な施設だと思っていますので、これまでも議論があったと思いますが、是非、我々町村の方に近い形でブレイクダウンしたような動きがあると大変嬉しいなと思っていますので、その点御理解いただけたらと思います。それは意見だけです。

もう1つ、国民健康保険についてです。以前、首藤副知事がいらした時に料率についてお願いをしたのですが、今年の令和4年度予算編成の時に実は大変苦勞をしました。当然、社会進出が進み、定年年齢が上がっていくと、社会保険からの離脱がどんどん遅れていくことで、国保の人口は如実に減りつつ、一方県の事業納付金は変わらず請求がきますし、高度医療の医療費の支出も増えていくと。かなりきつくて、葉山町で具体的に言いますと、まず7,000万円くらい的一般会計流用を今年1億円に上げました。ざっくり言うと葉山町は一般会計が100億円なので、県が仮に2兆円とすると200倍だから60億円位を今年度、繰り入れを増やしたみたいな感覚で聞いていただければと思いますが、かなり厳しく、それでも保険料を上げざるを得ない状況がこの春でてきはじめております。一方、県の基金の繰り入れを免除していただいたと先ほど担当からも聞いたので、来年度以降、若干軽くなるかなと思いつつ、社会的な情勢がかなり厳しいので、国民健康保険の今後の在り方が財政的にすごくひっ迫してくるのではないかと心配しております。是非、料率という点において、県内での話ですが、葉山町は所得が若干高い方向にありながら、県での医療費の給付は大分抑えているつもりではありますが、なかなかそこにメリットが見出せない状況がありますので、改めて国民健康保険については県の方で大なたを振るうような改革を行っていただきたいと思う次第であります。

最後にもう1点だけ。3年くらいだと思いますが、首藤副知事がナッジ、社会

行動についての講演をされていて非常に関心を強く持っておりまして、あの時の資料を未だに机の上に置いていてたまに見たりするのですが、その後、市町村と連携とか県との学びをいただける機会がないかとずっと思っているところです。これは個人的な要望として最後に申し上げました。私からは以上です。

【黒岩知事】

首藤副知事、お願いします。

【首藤副知事】

ありがとうございました。3点いただきまして、まず殿町の関係でございませうけれども、県立の保健福祉大学ヘルスイノベーションスクールも殿町に立地をいたしまして、主に未病と最先端の医療の戦略的なゾーンになっておりまして、やはりここら辺の技術が社会に出るのは相当時間がかかります。最近いろいろな形で出てき始めましたので、是非その辺の情報を町村の皆様にも提供させていただきますまして、早く皆様に還元できるように努力したいと思いますので、是非、御視察をいただきまして、技術の進捗等をリアルに確認いただければ有り難いと思っております。

2点目の国民健康保険の改革につきましては、神奈川県に限らず国全体の大きな課題になっておりまして、これまで国民健康保険はほとんど市町村事業で、都道府県として絡むことは非常に薄かったのですが、その流れの中で都道府県に国民健康保険の、保険者としての責任をしっかりと持たすというところで国も舵を切ったところです。このような事象は当然読めていた話ではありますので、国とも議論しながらやはりそろそろ大きな手を入れていかなければならない時期となっているというのは間違いのないお話でございます。別に葉山町さんが特別な人口動態あるいは社会的な情勢を歩んでらっしゃるというわけではなく、日本全体の課題だと認識をしておりますので、改めまして担当局を含めまして、議論を進めさせていただければと思っております。

3つ目のナッジにつきまして、やはり重要なのは行動変容でございますけれども、だいたい人というのは、わかっているけれども行動が変えられないということに対しまして、無意識下、あるいは自然とそういう方向に行動が誘導されるということは極めて重要な話だと思っております。これは未来創生課ができた当初から、社会的課題としてナッジを取り入れた社会変革に取り組んでおりまして、その部分と未病・ヘルスケア、未病領域の連携をより進めたいと思っております。（※未来創生課は、ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室等と統合し、令和3年4月に「いのち・未来戦略本部室」が設置された。）行動変容しなさいと言ったり、理屈はわかっているけれどもそういうふうに変化を実際起こ

していくことに対しては、やはりその行動経済学をはじめさまざまな領域で議論なり、エビデンスが蓄積されてきておりますので、是非その辺も町村の皆様方と勉強しながら進めたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。以上です。

【葉山町長】

国保については、社会全体というのにはわかっているのですが、どうしても県内の中で所得が高いところであり、しかし療養費請求が少なく、にもかかわらずというところの負担について、葉山町はむしろ安くなってもいいのではないかという議会からの声もありながら、一方でそういう状況があると、上げていかなければならないという現実をなかなか説明がつかないということを知っていたきたかったというところがございます。

ナッジについては、地球温暖化対策の一つにしても、なかなかプレッシャーをかけていくとどうしても反発もたくさん出てきますし、言うのはわかるけどというところで、誤謬性がどうしてもありまして、やはり私たちが本筋で将来を見ているところに、ポピュリズム的な発想がでてくると、そちらに流れやすいので、何とか止めなければいけない。すごく大事にしていきたいと思っているツールですので、是非、御指導いただけたら有り難いです。ありがとうございました。

【黒岩知事】

ほかにいかがでしょうか。はい、二宮町さん。

【二宮町長】

二宮町です。その他の机上配付の資料の中のものになります、1つは未病サミットです。だんだん対面でのいろいろなイベントなどもできるようになってまいりましたので、要望になりますが、いろいろな企業の未病事業について、町では地域の通いの場などでも活用させていただきましたので、またそういった企業のいろいろな活用を県から情報発信をよろしく願いしたいと思っております。もう1点、フードドライブですが、県社協で、二宮町のこども食堂の方にも、社協を通じていろいろな寄贈の食料品等をいただいております。やはり年々活用も増えておりますので、是非、今年度も社協などを通じて、コーディネートをよろしく願いしたいと思っております。2点、お願いでございます。

【黒岩知事】

いのち・未来戦略担当知事、お願いします。

【理事（いのち・未来戦略担当）】

いのち・未来戦略担当理事の脇でございます。御質問ありがとうございます。

まず、1点目の未病サミットかながわ2022の企業との連携のお話ですけれども、今、未病産業研究会というものを立ち上げておまして、そちらに1,000社近くの企業の方々等がいらっしゃいます。こうした方々と、市町村の皆様が抱えている課題をいかにマッチング、コーディネートしていくかということが改めて非常に大事な事だと思っておりますので、是非、皆様と連携させていただければと思います。

もう1点、フードドライブについてでございますけれども、これにつきましても23市町村、58企業、沢山の方々ともこれまでも一緒にさせていただいております。今年もやっていきたいと思っておりますけれども、やはり今、中で議論しているのは、結果も大事ですが、日常の中でこういうフードドライブというのがいかに根付いていくのかということが併せて大事だと思っております。これからいろいろと連携させていただければと思っておりますのでございます。以上でございます。

【黒岩知事】

様々な御意見いただきまして、ありがとうございます。やはりこのコロナ、そろそろ出口が見え始めているのかなと期待感を持ちながらみているところであります。やはりワクチン接種4回目ということが現実目の前にあります。町村の皆様と連携しながら、しっかりやっていきたいと思っております。

前に市長会と意見交換会したときには、例えば医療従事者とか福祉従事者、こういった方への接種というところも必要ではないのか、という御意見も出てまいりまして、こういったことについては国にそういった意見があることを伝えております。また新たな知見というものが出てくると思っております。

こうやって久しぶりに顔を合わせながら議論をするというのはやはりいいものだなと、このあと一杯やれたらすごくいいなと思っておりますけれども、だんだんそういう日常が戻ってくるのかなと思いつつ、それに備えてしっかりと皆様と連携しながらやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。